

2021年9月29日

株式会社トーモク
開発営業部

物流に係わる企業間共創プログラム「Techrum」への参画

株式会社トーモクは、野村不動産株式会社が運営している、物流に係わる様々な課題解決を目指す企業間共創プログラム「Techrum」へ、パートナー企業として参画致します。物流の自動化（省人化・機械化）をはじめとした物流の課題解決にむけた様々な効果検証を行ってまいります。

物流業界を取り巻く環境は、EC需要による戸別宅配の増加や小売り流通店舗網の複雑化によって物流需要が急激に伸長する一方、配送人員はもちろん、物流施設での商品包装・仕分け・検品などに従事する様々な人材不足が深刻化しています。足下では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により物流関連需要がさらに拡大したことも相まって、自動化（省人化・機械化）をはじめとした物流オペレーションの見直しが大きな社会課題となっています。

株式会社トーモクでは、当社の主な事業である梱包資材供給に加え、物流自動化に関しても取り組みを進めており、梱包資材の製函・封函のみならず、開梱入荷製品を中心とした機械化に取り組んで参ります。

【Techrum（テクラム）とは】 <https://www.nomura-landport.com/techrum/>

野村不動産株式会社が、自動化機器の効率的な活用など物流オペレーションを最適化するために2021年4月に開始した企業間共創プログラムです。

参画企業の連携や組み合わせなどによる課題解決やソリューション開発を同社が運営する物流施設「Landport習志野」（千葉県習志野市）内の「習志野PoC Hub」を効果検証拠点として活用し、参画基準にはあえて販路や他企業との連携制限などを設けず、幅広い企業が参画することで荷主や物流企業の様々な課題の解決を目指します。

※物流施設内の自動化機器を活用して物流課題解決を推進する企業間共創プログラム「Techrum（テクラム）」を2021年4月より開始

<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2021032301818.pdf>

